

こふんぶんか しもつけのくに  
古墳文化 と下野国

とちぎけんりつはくぶつかん  
栃木県立博物館ワークシート

てんじしつ  
展示室1

けんがくび  
見学日

ねん  
年

がつ  
月

にち  
日

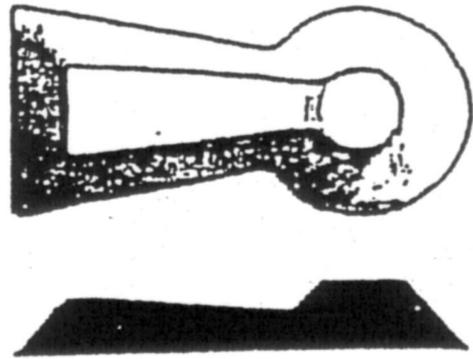
なまえ  
名前 ( )

1 亡<sup>な</sup>くなった<sup>しはいしゃ</sup>支配者<sup>ほうむ</sup>を葬<sup>つち</sup>るために土<sup>つち</sup>を  
高<sup>たか</sup>く盛<sup>も</sup>り上<sup>あ</sup>げてつ<sup>みぎ</sup>くつた右<sup>みぎ</sup>の図<sup>ず</sup>のよう  
な古代<sup>こだい</sup>のお墓<sup>はか</sup>を何<sup>なに</sup>という<sup>い</sup>うでしょう。

① さいそうぼ  
再葬墓

② こふん  
古墳

③ ピラミッド

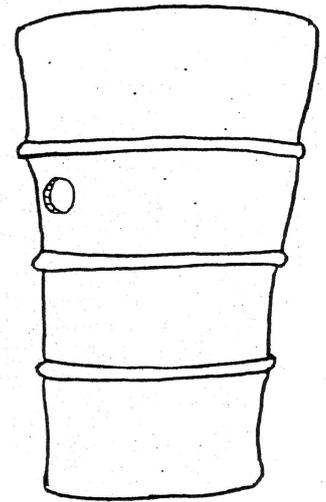


2 お墓<sup>はか</sup>のまわりや、お墓<sup>はか</sup>の上<sup>うへ</sup>におか<sup>つち</sup>れた土<sup>つち</sup>ででき<sup>や</sup>た焼<sup>もの</sup>き物<sup>もの</sup>  
を「埴輪<sup>はにわ</sup>」とよ<sup>てんじしつ</sup>んでいます。展示室<sup>なか</sup>の中<sup>なか</sup>には図<sup>ず</sup>のよう<sup>かたち</sup>な形<sup>かたち</sup>  
の円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>があります。

① かがか<sup>どうぶつ</sup>か<sup>なまえ</sup>れている動物<sup>なん</sup>の名<sup>なん</sup>前<sup>なん</sup>は何<sup>なん</sup>ですか。

( )

② 円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>の中<sup>なか</sup>に、かがか<sup>どうぶつ</sup>か<sup>え</sup>れている動物<sup>え</sup>の絵<sup>え</sup>を  
右<sup>みぎ</sup>の円筒埴輪<sup>えんとうはにわ</sup>の図<sup>ず</sup>にか<sup>い</sup>き入<sup>い</sup>れてみ<sup>い</sup>ましょ<sup>い</sup>う。



3 このお墓<sup>はか</sup>からは左<sup>ひだり</sup>のよう<sup>どうぐ</sup>な道具<sup>ふくそうひん</sup>が副葬品<sup>ふくそうひん</sup>とし  
て出<sup>しゅつ</sup>土<sup>ど</sup>することがあります。

この道具<sup>どうぐ</sup>は何<sup>なん</sup>でしょう。

① かがみ  
鏡

② たて  
盾

③ ぼん  
お盆

4 下の写真は、国府で働く役人が使っていた道具です。道具の名前を展示室の中から見つけて書いてみましょう。



( )



( )

国府とは…

奈良・平安時代に今の県知事にあたる国司が政治をした役所のことです。今の県庁のようなところです。

4 右の写真は、国府跡から見つかった『漆紙文書』という資料です。『漆紙文書』は、木製品の塗料として使われた漆の液が紙にしみこんだおかげで、そこに書かれた文字が腐ることなく残ったもので、当時の様子をくわしく知ることができる貴重な資料です。

では、どうして木製品の塗料だった漆が、役所で使われていた紙にしみこんでしまったのでしょうか。

- ① 資料保存のため、役人が漆の液をしみこませたから
- ② 役所の資料に漆の液をこぼしてしまったから
- ③ 役所でいらなくなった紙を漆の容器のふたとしてリサイクルしていたから



6 仏教の力で国を治めようとした聖武天皇が東大寺に大仏を造ったころ、全国各地にお寺がつけられ、『戒壇』とよばれるお坊さんになるための施設もつけられました。下野国（栃木県）には全国に3か所しかつけられなかった『戒壇』の1つがありました。

右の写真は、このお寺の風鐸（塔などの四隅につけられた鐘形の鈴）です。何というお寺のものでしょうか。

- ① 樺崎寺
- ② 下野薬師寺
- ③ 輪王寺

